

科目名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41118120]		
学期	S1	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜3、4時限		
場所	医学部・教育研究棟13階講義室		
担当教員	木内貴弘、石川ひろの		
授業の目的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、医療従事者間、医療従事者と患者市民間、患者市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。医療コミュニケーションは、医学・医療と社会のインターフェイスとして、パブリックヘルス分野において、非常に重要な意味を持っている。従来、ヒト対ヒトのいわゆるヒューマンコミュニケーションを主体に考えられてきたが、現在では、これに加えて、インターネット、マスメディア、コンピュータ・ゲーム機等を介したコミュニケーションの意義・役割が増大している。</p> <p>本講義では、個人あるいは社会としての最適な健康上のアウトカムを得るために、医学・医療に関する知識・情報を、正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうために必要な、(1)コミュニケーションの理論体系、(2)コミュニケーションの実務的方法論、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱うとともに、医療コミュニケーションの具体的な実践例の紹介と分析も行う（具体的な内容は下記の「授業計画及び内容」を参照のこと）。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回1テーマの講義を行う。 テーマに基づいた追加資料の配布や事例の紹介を行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	日時	内容	担当
	4月7日(火) 13:00-14:45	I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーション学とは	木内貴弘
	4月7日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション カウンセリング入門	久田満 (上智大学)
	4月14日(火) 13:00-14:45	II. 対人コミュニケーション 患者市民からみた医療者との関係とコミュニケーション	山口育子 (COML)
	4月14日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション 保健医療専門職の教育とプロフェッショナルリズム	北村聖 (医学教育国際研究センター)
	4月21日(火) 13:00-14:45	I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーションの評価と実証研究	石川ひろの
	4月21日(火) 14:55-16:40	III. メディア・コミュニケーション ヘルスケア営利企業の広報とコミュニケーション	加藤美生 (日本イーライリリー株式会社)
	4月28日(火) 13:00-14:45	II. 対人コミュニケーション 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	4月28日(火) 14:55-16:40	II. 対人コミュニケーション 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (株式会社キャンサースキャン)
	5月12日(火) 13:00-14:45	III. メディア・コミュニケーション テレビ	市川衛 (NHK)

	<table border="1"> <tr> <td>5月12日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション 新聞</td> <td>阿部文彦 (読売新聞)</td> </tr> <tr> <td>5月19日(火) 13:00-14:45</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション</td> <td>渡邊清高 (帝京大学)</td> </tr> <tr> <td>5月19日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側</td> <td>清水康之 (ライフリンク)</td> </tr> <tr> <td>5月26日(火) 13:00-14:45</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット</td> <td>中山和弘 (聖路加国際大学)</td> </tr> <tr> <td>5月26日(火) 14:55-16:40</td> <td>Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション</td> <td>石川ひろの</td> </tr> </table>	5月12日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 新聞	阿部文彦 (読売新聞)	5月19日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション	渡邊清高 (帝京大学)	5月19日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側	清水康之 (ライフリンク)	5月26日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)	5月26日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション	石川ひろの
5月12日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 新聞	阿部文彦 (読売新聞)														
5月19日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション メディア報道と保健医療情報のコミュニケーション	渡邊清高 (帝京大学)														
5月19日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション 個人の問題から社会の問題へ:自殺対策政策実現の裏側	清水康之 (ライフリンク)														
5月26日(火) 13:00-14:45	Ⅲ. メディア・コミュニケーション インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)														
5月26日(火) 14:55-16:40	Ⅲ. メディア・コミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション	石川ひろの														
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> • Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 4th ed. Oxford University Press. 2013 • Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 • Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 • 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 															
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。															
他の授業との関連	医療コミュニケーション学は、公衆衛生学・医学・医療のあらゆる分野と関係しているが、健康社会学、健康教育学、健康増進科学、医療安全管理学との関係が深い。															